

## 事業概要とセミナー開催趣旨

国際緑化推進センター 専務理事  
堀 正彦



## 平成30年度 途上国森林再生技術普及事業について

2

### □背景

- IPCCの第5次評価報告では、気候変動緩和策の一つとして植林の可能性について記載
- しかし、気候や土壌条件に恵まれた土地は農地として既に利用
- 一方で、以下のような荒廃地は未利用のまま大規模に残されている
  - 途上国地域の農・牧畜等によって著しい土壌劣化が進行した荒廃放棄地
  - 降水の少なさのために植生回復が難しい乾燥・半乾燥地
  - 過剰な水分等が問題となる湿地林やマングローブ域
- 今後、企業の産業植林やNGO活動において、荒廃地植林は重要課題

## □ 事業実施項目

- 従来に関連技術を整理・体系化し、データベースを作成
- 新技術を探索・抽出し、実証試験を通して確立する
  - Mスターコンテナ長根苗 @ミャンマー中央乾燥地 (JIFPRO)
  - 保育ブロック工法 @ウズベキスタン乾燥地 (応用地質)
  - 湛水造林 @タイ南部の湿地帯 (東京大学)
  - ココナツハスクによるマルチ @フィリピン海岸砂丘林 (オイスカ)
- 国内外で事業の説明会を行う
- 国内で成果報告を兼ねた普及セミナーを開催



## セミナーの内容

- 本事業で作成中のデータベース「森林再生テクニカルノート」の紹介
- 基調講演
  - 乾燥・半乾燥地で樹木が水を利用するための戦略
    - 吉川 賢 名誉教授 (岡山大学)
- 本事業で行った実証試験の報告
  - 長根苗@ミャンマー (JIFPRO)
  - 保育ブロック@ウズベキスタン (応用地質)
  - 湛水処理@タイ (東京大学)
  - ココナツハスク@フィリピン (オイスカ)



## セミナー開催のねらい

5

### 参加していただいた方へ

- 有望と思われる技術の情報の提供
- 目的を共有する方々との交流
- 荒廃地の緑化などを実際に進めるための参考
- ビジネスパートナーとの出会い

### JIFPROにとって

- 興味を持っていただいた方と、交流の範囲を拡大
- これにより有望な技術情報が得られる
- 其れにより、データベースの拡充
- その結果、より良い情報を提供

・地域住民の要望で植林したいけど、  
荒廃地で制限要因が多く、  
通常の植林では失敗

・自社の技術（製品・特許）で海外進出したい！  
・途上国の森林分野でどんな  
マーケットやニーズがあるの  
だろう？



NGO/NPO



援助機関



民間企業



## 最後に

6

皆様の積極的なご参加により、実り多い会  
合となることを期待しております。

よろしくお願いいたします。

